

Poco

ZEFIRO

ポコ

ゼフィーロ

カトリック桂教会 広報紙

「信じましょう、主の復活を」

京丹ブロック担当司祭 崔 聖煥

アレルヤ、アレルヤ。わたしたちの主、イエスキリストが復活されました。アレルヤ、アレルヤ。

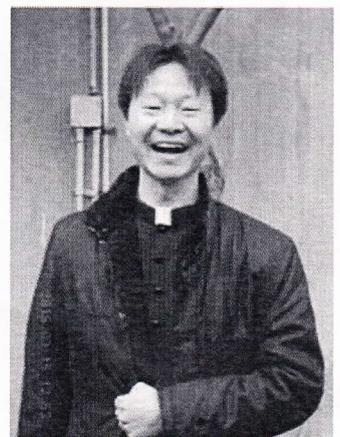
皆さん、主のご復活、おめでとうございます。この世にあるすべてのものが心を込めて主の復活をほめたたえています。主の復活の喜びが皆さんの上に豊かにありますように。

さて、主の復活はわたしたちの人生にどんな意味があるのでしょうか。先の見えない乱れている世の中で、なぜわたしたちは主の復活を信じているのでしょうか。

イエスキリストの復活はわたしたちの信仰の基盤であり、同時に希望の根拠であります。「もしキリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もお罪の中にあることになりませ」と使徒パウロが話したように、もしイエス様が復活されなかった



とすれば、今わたしたちが信じている信仰は何の意味もないことになってしまいます。しかし、わたしたちは信じます。キリストの復活を信じます。疑わずに強く信じます。そしてキリストの復活によってわたしたちを救ってくださる神様を信じます。復活というのは理解するものではありません。



どこだろう・何だろう？

教会のどこかで撮影したスナップ写真です。これが何だかわかりますか？



初級

正解は広報部員まで

ん。頭で納得して認めるものではありません。主の復活はひたすら胸のさとりで信じるのです。

わたしたちは完全な存在ではありません。それで難しいことの前に、試練につまずき、倒れたり、あきらめたりします。しかし、それを乗り越えて、また立ち上がる事ができるのはまさに復活されたイエス様のおかげです。その方を信じてその復活信仰を受け入れているからです。それでわたしたちはいつも喜んで、絶えず祈って、どんなことにも感謝する生活をしなければなりません。これが主のご復活を本当に信じる者の生き方です。愛する皆さん。

イエス様は生き返られました。本当に復活されました。死の力に打ち勝ちました。主のご復活を信じれば、わたしたちも復活することができます。皆さんがこの喜びの日を迎えて、これからの復活の人生を生きようと決心することによって、これからの人生においては皆さんが幸せになりますように、希望に満ちて生きることができましようようにお祈りします。共に復活の信仰生活を送りましよう。

「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。」

【ヨハネ第十一章二十五節】